

スカパーJSAT グループ 2018 年度下半期番組審議会

(スカパーJSAT 第 31 回、スカパー・エンターテイメント第 24 回)

開催年月日：2019 年 2 月 15 日（金）

開催場所：スカパーJSAT 株式会社 役員会議室

出席者

（審議委員）

委員数：7 名

出席委員数：6 名

審議委員長：高畑 文雄

委 員：崔 洋一

委 員：山本 浩二

委 員：草野 満代

委 員：田中 里沙

委 員：安田 洋祐

（スカパーJSAT グループ）

高田 真治：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長

米倉 英一：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員副社長

小牧 次郎：スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務

メディア事業部門長 兼 メディア事業部門コンテンツ事業本部長

古屋 金哉：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

手塚 久：スカパーJSAT(株) 執行役員 メディア事業部門 プラットフォーム事業本部 本部長代行

片岡 博：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部長代行

齊藤 肇：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル事業部長

（報告者）

長内 敦：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル事業部 編成推進チーム

佐藤 一軌：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル事業部 スポーツチーム

報告者：長内敦

◆放送概要

放送日：シーズン1（全12話）2018年4月6日(金)～6月22日(金) 22時30分～23時00分
シーズン2（全12話）2018年10月5日(金)～12月21日(金)22時30分～23時00分
放送チャンネル：BSスカパー！、スカパー！オンデマンドにてリニア・見逃し配信
キャスト：落合福嗣、M・A・O、浪川大輔ほか

◆放送コンセプトと実施内容

- ・雑誌『週刊モーニング』で連載中のサラリーマンプロ野球漫画。
原作：森高夕次、漫画：アダチケイジ 累計発行部数500万部の人気原作を全24話でアニメ化。
- ・スカパー！の最大コンテンツである“プロ野球”をテーマにした題材。プロ野球視聴者のオフシーズン解約防止を狙う。
- ・主人公 凡田夏之介 役に落合博満氏の長男、声優 落合福嗣を起用し話題。元プロ野球選手や芸能界の大物をゲスト声優としてキャスティング
- ・講談社協力の元、『週刊モーニング』本誌と連動したアニメ化に関するさまざまなコラボを実施。

<審議委員からのご意見>

- ・全く知らない状態で作品を観ましたが、当事者の野球選手は、年棒が1,800万円とか、あまり現場ではしたくないですね。そう思いながらどうかと思いついてみると、すごく専門的で技術的なことが入っている。ピッチャーとしての技術的なことを結構わかりやすく説明している点など「これはおもしろい」と、ちょっと見入ったところがありました。
- ・成人向けの男性漫画誌『モーニング』なんて手にとったこともなかったが、送って頂いたDVDを全部その日のうちに見てしまったというぐらい非常におもしろかった。
- ・講談社とのコラボの様子もみんなが楽しんで作っていることが判るし、プロ野球が取り巻く環境や視聴者の動向などを知り、スカパー！との相性のいいアニメなんだなと思いました。
- ・男性向けで野球ファン向けのコンテンツだろうと思って観たのですが、そこにサラリーマンという組織で働く人の切り口が入っているので、働く女性にとっても結構おもしろくて、共感できることがたくさんありました。
- ・作品の中で戦力外通告、解雇、離脱が凡田のモノローグ的に触れているんだけど、そういう切なさの部分と、だけど単純に金だけではないという、この凡田の批評性が悲しく笑えると。これはコメディの王者の路線ですよ。ちよっぴり悲しいところが笑えるという突き方はやはり成功のシグナルなんだと、観ていて思いました。

➡頂いたご意見を参考に、他局との隙間を見極めた企画立案を心がけて進めていくとともに今回見つけた海外への2次利用という金脈を研究し、事業性あるコンテンツ作りに挑戦したい。

報告者：藤田一真

◆放送概要

放送日：2019年1月19日（土）16時45分～22時00分（試合開始：19時00分）

放送チャンネル：スカチャン1、スカパー！オンデマンドにてリニア・見逃し配信

開催場所：富山県富山市総合体育館 入場者数：4,051名（チケット即完売）

◆放送コンセプトと実施内容

- ・「オールスター」は、ファン投票やリーグ推薦で選ばれたスター選手が一同に集結し開催される一夜限りのイベント。
- ・スカパー・ブロードキャスティングにて中継制作。両軍ベンチ・ゴール等にカメラを増設し選手の表情や臨場感を様々な角度から見せる。
- ・試合開始2時間以上前より放送を開始し、試合前に行われる3ポイントコンテストやダンクシュートコンテストの様も紹介。
- ・8K ライブビューイングが品川プリンスホテルステラボールで開催されたが、オールスターゲームの様を公式映像とは別チームを編成し映像制作、東京まで光伝送することで8Kパブリックビューイングを実施。（入場者数：926名）

<審議委員からのご意見>

- ・スポーツ中継やはり臨場感が大事だね。その臨場感を人工的に視聴者の皆さんに伝えるのがメディアの役割であり、制作技術である。“素”で撮って流せばいいというものではない。8台のカメラを入れていたとのことだが、カメラスイッチングによる演出効果がまだまだ足りない。音についても、もっと追求すべきである。「キュッ キュッ」と鳴るコートとバスケットシューズの摩擦音を聞かせるべきだが、今回は足りていなかった。カメラがベンチへ寄った時のベンチ音声もきちんと拾えていないなど、バスケット中継番組としての完成度はまだまだだと思う。
- ・試合開始前のダンクコンテストや3ポイントコンテストは、確かに楽しめる内容でありそれを放送すること自体は良いことだと思うが、コンテスト間の待ち時間を有効に使う工夫が必要だと思う。予め挿入する素材を用意したり、放送席からコメントをもらうなど、演出の工夫が足りないと思う。
- ・加藤ミリアさんが総合演出プロデューサーとして手掛けるのは良いことであり、Bリーグならではの派手で恰好良いオープニングセレモニー・ハーフタイムショーを目指したのだと思うが、カット割りなど映像が少し判りにくく、もっと臨場感あるライブ映像を作れたのではないかと感じる。「スポーツ中継とエンターテインメント性の両立」をさせる制作を目指していくべきだと思うが、まだまだ課題があったと感じた。
- ・スカパー！が請け負う「試合中継制作」というものは、今後のBリーグにとっても重要な部分であろう。トラブルや問題が起これば都度きちんと対応して、Bリーグの発展に少しでも寄与できるよう活動して欲しい。

➡頂いたご意見を真摯に受け止め、Bリーグの更なる発展に寄与すべく、エンターテインメント性の追求を常に心がけ、より質の高い中継映像を制作できるよう取り組んでまいります。

<諮問事項>

(株)スカパー・エンターテインメントの「放送番組の編集基準」を改定し、以下の項目を追加変更する。

性表現

性に関する事柄は、視聴者に困惑・嫌悪の感じを抱かせることなく、また、青少年に有害な影響を与えることのないように注意する。加えて、児童の保護を目的とした法律に規定された児童ポルノを映像作品化した作品は取り扱いしない。

未成年者の保護

(1)20 歳未満が視聴不可の成人番組の編成については、成人番組倫理委員会番組審査概要並びに同委員会の通達を遵守し、原則的に同委員会の審査を受け、適正と認められた作品を編成する。

(2)作品の放送にあたり、次の各号のことを表示し視聴者の注意を喚起する。

(ア) 成人番組倫理委員会の審査を受け、適正と認められたこと。

(イ) 放送番組名は、年齢制限付であること。

(ウ) 著作権保護も含め、録画制限が管理されていること。

(3)加入申込者の注意を喚起するため、加入申込書等に次の各号を明記する。

(ア) 視聴年齢制限付作品の放送にあたっては、当該作品が視聴年齢制限付であること及び住所、氏名、年齢を証明する公的証明書等の写し等を提出することを表示し視聴者の注意を喚起する。

◆改定理由

(株)スカパー・エンターテインメントはプレミアムサービス全般の「一般放送事業者」であり、「成人向け番組」の放送も扱うため、放送番組基準の一部変更をいたします。

<報告事項>

「スカパー・エンターテインメントの番組審議と今後の展開について」

報告者：(株)スカパー・エンターテインメント 代表取締役社長 古屋金哉

- ・2018年12月1日に、「新4K8K衛星放送」が開始され、スカパー・エンターテインメントとしても8チャンネルを無事開局致しました。(Jスポーツ1～4、スター・チャンネル、日本映画時代劇チャンネル、自主のチャンネルのスカチャン1とカチャン2)
- ・多くのコンテンツは2Kのアップコンバート版で放送しております。4Kピュアの作品の絶対数が足りないため、まずはアップコンからスタートし、我々も努力して4Kピュアを増やそうと考えております。
- ・今までのBSで使っていたのは右旋偏波でしたが、もう帯域がないので4K放送を行うには左旋側を使うとなったが、新しいBSアンテナ、テレビ、チューナーに変えなければいけない。ここが普及させていくには少し力と手間がかかるころです。
- ・またこの夏に光ファイバーを使用し、屋内配線を変えないで、テレビにアダプターを1個つけるだけでNHKの8Kも含む新4K8K衛星放送が見られる環境を準備することが技術的に出来るサービスを開始予定です。さらに新4K8K衛星放送を普及させたいと考えております。
- ・新4K8K衛星放送は新しい限定受信システム(ACAS)を使っております。このACASは、限定受信システムと著

著作権法コピーコントロール(コンテンツ保護)の2つの機能を持っていますが、分けた考え方は無いのという議論と、新たな CAS 機能がどうあるべきかを、総務省が「新たな CAS 機能に関する分科会」を設置して、議論を始めている状況であることを報告致します。